

研修報告書 No.23

研修先： 土佐市民病院

このたび一か月間、土佐市民病院にて地域臨床研修の機会をいただき、その実際を深く理解する大変貴重な経験となりました。以下に、県外在住医師として見た高知県の地域医療の状況、研修内容に対する所見、そして今回の研修で得られた学びについて報告します。

まず、高知県の地域医療についてです、県外の医療機関で勤務している私の目には、患者さんと医療スタッフの距離が非常に近いという印象を強く受けました。診察室では、患者さんが医師や看護師に対して気兼ねなく相談し、生活背景や家族関係など、より深い情報を自然に共有する様子が見られ、地域全体として温かく信頼に基づいた医療が根付いていることを実感しました。

また、土佐市民病院では、地方の病院にありがちな人員不足を強く感じることではなく、適切な診療体制が維持され、地域に密着した医療が安定して提供されている印象を受けました。大学病院に比べ紹介状を持参する患者さんの割合は少なく、地域のかかりつけ医としての機能がより前面に出ている点も特徴的でした。

次に、研修内容について述べます。医師補佐の事務の方、看護師、その他多職種のスタッフの丁寧かつ温かいサポートにより、研修医として非常に働きやすい環境が整っていました。先生方も研修医に裁量を与えつつ、必要な場面では確実にバックアップしてくださるため、安心して主体的に診療に取り組むことができました。この「自主性を尊重しながら安全を担保してくれる指導体制」は非常に理想的であり、学びの多い一か月間でした。

さらに、内科・外科・小児科・耳鼻咽喉科と幅広い診療科の外来を経験でき、一つの病院でこれほどバランス良く学べる環境は貴重だと感じました。虫垂炎などの手術にも参加し、医療判断から外科的処置に至る一連の流れを理解する良い機会になりました。

また、私は循環器内科志望ですが、CAG の見学もすることができ、地域病院でありながら専門的な診療にも触れられる点が大きな魅力でした。病床数 150 床という規模は、研修医にとって多すぎず少なすぎず、適度な忙しさと十分な学習機会が両立した非常に良い環境であったと感じています。

今回の研修で得られた学びとしては、まずインフォームド・コンセントの機会が多く、患者さんが理解しやすい言葉を選び、安心してもらえるよう説明する技術を磨くことができました。

また、レセプトに必要な病名登録、検査オーダー、外来の実際など実務的な知識も数多く学ぶことができました。これらは大学病院だけでは得にくい貴重な経験であり、地域医療研修ならではの強みであると感じています。さらに、患者さんの生活背景まで視野に入れた診

療の大切さを改めて学び、今後の医療者としての姿勢に大きく影響する学びとなりました。

そして最後に、今回の研修を通じて自身の価値観にも変化が生まれました。元々、地域医療について深く考えたことはありませんでしたが、高知での経験を通じて、地域に密着し住民と近い距離で向き合う医師の在り方に強い魅力を感じました。地域独自の医療ニーズに応え、人々の生活に寄り添う医療を実践する姿を目の当たりにし、将来的に機会があれば、地域に貢献する医師として働く道も選択肢の一つとして十分あり得ると思えるようになりました。この価値観の変化は、今回の研修で得た最も大きな成果の一つであると言えます。

以上のように、土佐市民病院での一か月間は私にとって大変有意義で、多くの学びと気づきにあふれた時間でした。この経験を糧に、今後もより良い医療の提供に努め、医師として成長を続けてまいりたいと考えております。